

## 橋谷調 トルコで私も完敗だ

Let's take off your panty

[ライター◎橋谷麻記子]

旅がすきです。なかでも海外旅行と来た日にゃ、3度のゴハンよりすきかもしんない。なにが良いって、国内でおきてたら怒髪天を突く勢いで怒っているであろう様々なトラブル、それがコトバと習慣が通じないが為に笑いのネタに昇華されてしまう、あの訳のわからない非日常なエネルギーが、もうおしっこ漏らしちゃういそうなほどすきなんです。

で、カネとヒマと道連れさえあればアラホラサッサで海外逃亡の私。訪問国は15カ国にのぼり、そりゃもう色んな目に遭ってきました。パトロンとの邂逅、悶絶食中毒、連れギャルを現地人にお持ち帰りされて一人寝の枕を濡らし、隣席のマレーシア人オヤジの顔には機内食のドレッシングをぶちまけ、男女同食のタイ式マッサージではひとり脱衣のオイルマッサージで周囲の視線に遭い。もはや大概の事ではびびらない自信があったんです。

あぁでも世界は広がった。於・トルコ、一時はソーブランドの別名でもあったほど、そこはお風呂で有名なところ。我々はイチピって観光色一切無しの地元民用公衆浴場へ赴きました。垢スリとマッサージのオプションを頼むと、着てるものは全部脱げとのお達しです。「No problem」以外の英語は存在しないし、心細くもマッサージ役のおばちゃんに連れられ浴場へ。盛況の中、オプションなどとお大尽なのは我々だけ。皆さんはしっかり下着をつけて入浴中です。不安増大。

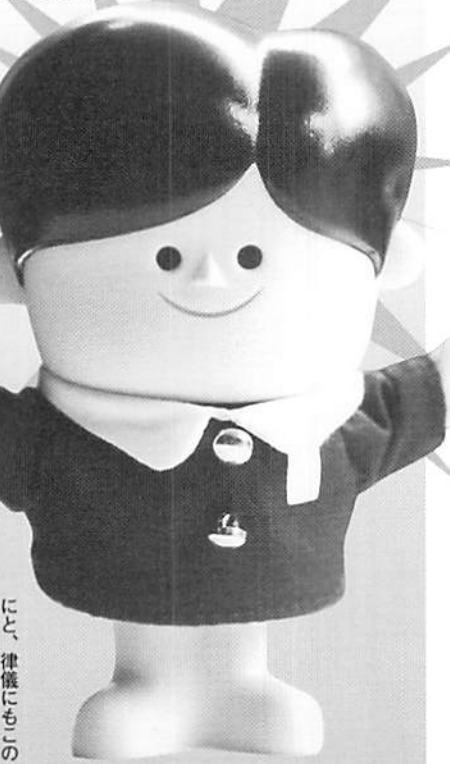
台に寝転んでマッサージを待っていると、何故かおばちゃん、太鼓を持って登場。とたんに周りの皆さんが色めき立ち、マッサージはほったらかして夢中で打ち鳴らす太鼓に合わせ、全員でトルコの伝統腰振り舞踊・ベリーダンス(ちなみに写真が正式衣装)を踊り出す始末。何も知らずに迷い込んだ、いたいけな子羊(私)の生贖の儀式かと思いましたよ、わたし。どうやらコレはいつもの事らしい、でもただ呆然と見つめるしかない日本人を、親切な皆さんは踊りの輪に迎え入れてくれました。…でも、でもね、みんなはパンツ穿いてるの。でも私は素っ裸なの！ 生腰をつかまれてランバダもどきに腰のうねり加減を実技指導されたとき、あの小さな布切れ一枚がいかに個の尊厳に貢献してくれているか、つくづく噛み締めた次第。…けど、これはこれで癖になったりも、します。次は負けないぞ。待ってるトルコ。



### PROFILE

1958年、京都生まれの毒身リターンサーファーで企業キャラコレクター。雑誌編集長をしつつ、日夜ペンネームにて町を徘徊しては、下世話ネタをあさっている。特技：若づくり

やったね！ われら「京都CF」の記念すべき2000号記念パーティーのお祝いに、可愛いお姫様、美尻谷君が持つてきてくれたその真き物こそ、20世紀の置き土産、復刻版ナショナル坊やその人、企業キャラブームも手伝ってか、テイクアウト用トナツみなく箱に入った昨年未キャンベーン懸賞用貯金箱。三身下のエリートコースをフル活用して(？)、松はいえ実は苦勞空労の未ゲットした(？)代物なんである。というのも彼の父上、福井の遠敷という町の名士で三田電子という松下つながりの立派な会社の社長さま、毛並みもよろしく、そんな彼が、こんなおいらの為



に、律儀にもこの坊やをぶらさけてきくられたもんだからして、やっぱり部下はしっかり目をかけておくもんですな。折しもNHKの朝連ドラは「オー・ドリー」、そいつを機に京都のUSJ、われらが太秦・スタジオ・ジャパンが放ったキネマ記念館は、懐かしき昭和の良き目の町並みを再現、そのセピア色した電氣屋の店頭にも往時の坊やが首を擡げて立っているのだから、あーやっぱりイケてるんじゃないのナショナル坊や。この際だから教えちゃうけど、まだまだこの京都にも何軒かは昔のままの彼を看板代わりに使ってる店があるんだよね。絶対時間をかけてもゲットしてやるんだからと、ピカピカ小学一年生姿の彼を横に置いては和む、今日この頃です。ハイ！

- 本名：ナショナル坊や
- 誕生日：前身は多分昭和32年、通称ババママショップと呼ばれた機関誌の表紙を飾った布製人形で店頭用入形は昭和35年頃
- 生みの親：昭和35年にジュサーの広告に使用した野菜・果物型キャラを岩永泉氏が制作、その中で特に可愛いとされたトマト坊やを、Gデザイナーの小山辰司氏がN坊やにアレンジしたらしい
- 身長：店頭ディスプレイ用台座込み・約1m(今回の復刻版は約12cm)
- 特技：ナショナルショップの店頭で店員になり代わって、ハッピー姿にハチマキ頭でのぼりを獲って商戦に加わること。東京オリンピックやEXPO70では世界の民族衣装に身を包んだりした。EXPOはプラスチックに入ってタイムカプセルを買って出た
- 受賞歴：気球に乗って世界を飛び回るCFでは、N.Y.の国際広告賞に入賞したゾ

超エリア限定サイト京都トコトンWEB「京都インフォ」  
<http://www.kyoto-info.ne.jp/>

I-mode <http://www.kyoto-info.ne.jp/i>  
Ezweb <http://www.kyoto-info.ne.jp/ez>

京都町っ子御用達 大注目の新サイト

おおきに京都インフォどす

**京都CF Pick Up!**

つくね好きが高じて  
看板娘に…  
恐るべし、石焼地鶏の威力

対馬の海の底から引き上げた石を鉄板の代わりに、地鶏や野菜をふっくら瑞々しいままに焼き上げるのが、石焼地鶏・石庵。「お客として来るうちにハマっちゃって…」と看板娘へ転身したミカちゃんをはじめ、オモロイ系スタッフの丁寧な焼き方レクチャーのもと、焼き物が堪能できるのだ。地鶏・魚介・野菜を組み合わせたコースは1900円～、一番人気を争うのは、せせり&ししゃも。どれが気に入るか、食べ比べてみる価値は大!

**石庵 (いっちゃん)**  
京都市中京区東本町通三条二筋下材木町178-3 先斗町日高ビル1F  
☎075-254-8568 ●17:30~24:00 (L.O.23:30) /無休

四条・河原町・御池・烏丸エリア限定サイトが初お目見え。モリモリ盛られた情報は、京都唯一。ヒトモノも動く、この4本の通りに囲まれたエリア限定。コアな町情報を見逃さないCFでも、そのサイトに要注目!

お問い合わせ/株式会社ヘッドワーク「京都インフォ事務局」 E-mail: [webmaster@kyoto-info.ne.jp](mailto:webmaster@kyoto-info.ne.jp)